

# NAET® による施術を希望される方へ

## I. はじめに

NAET® 施術を希望される患者さんは、初回施術前に「病気よ、さようなら」または「アレルギーよ、さようなら（未邦訳）」に目を通すか、CD「アレルギーよ、さようなら（未邦訳）」を視聴してください。ほとんどの患者さんは家族や友人からの紹介で NAET® 施術者を訪れます。しかし多くの方は NAET® について知識がほとんどなく、自身の健康に NAET® がどれほど必要であるかを理解できていません。NAET® に関する知識が患者さんにあれば、施術院でどのように調べ、施術していくのかをより理解しやすくなります。「病気よ、さようなら」には、NAET® における検査法や自分でエネルギーを整える方法についても説明されています。NAET® の詳細な施術手順に関しては、認定を受けた NAET® 施術者へのみ必要ということで説明していません。「病気よ、さようなら」には、様々な健康問題についての症例報告やこれまでに NAET® を受けた患者さんからのコメントも掲載しています。

ナムブドゥリパッドのアレルギー除去療法 (NAET®) は体内のエネルギーバランスを保つ手助けをする方法です。NAET® は病院に代わる一次医療ではありません。よって患者さんは NAET® 施術を受けながら、必要に応じてかかりつけ医の治療を継続したり、専門医を受診したりする必要があります。

東洋医学理論によると、体内のエネルギーバランスが良好であれば、その不均衡から生じる多くの健康問題を患うことはありません。NAET® では、食物過敏や環境物質・化学物質過敏そして真のアレルギー（免疫グロブリン E<math>IgE</math>）が関与するアレルギー）によって、経絡を流れるエネルギーが乱され、このエネルギーの不均衡や混乱があらゆる物質に対する過敏反応の根源だと仮定しています。まずは NAET® 手順に基づいて、エネルギーの混乱を引き起こすアレルゲンを調べます。適切な NAET® 施術により、そのアレルゲンが減感作されれば、将来そのアレルゲンを食べたり使ったりしても以前のように不快な反応を起こすことはないでしょう。NAET® は非侵襲的で、刺激の少ないエネルギーバランスを整えるための安全な施術です。過去 35 年以上の臨床において、副作用のような反発性の影響を長期間にわたってもたらずということもありません。NAET® の施術を受けている間、自分の症状をコントロールするために必要な薬や治療、そして鍼灸・カイロプラクティック・マッサージなどの施術も継続すべきです。

NAET® は経絡からエネルギーの遮断を取り除き、身体に生命エネルギーの正常な循環を復活させる手助けをするエネルギーバランスを整える施術にすぎません。その結果として、患者さんは重度のアレルギーやアレルギーに基づく健康問題から解放され、その恩恵を実感することができるでしょう。しかし、NAET® は病院に代わる一次医療ではない、ということをご理解ください。

これまでに NAET® を通して、過敏性から生じる健康問題の様々な側面に関しての二重盲検試験を行う機会がありませんでした。論文掲載された数例の症例研究と二重盲検試験1つを除けば、今のところは NAET® 施術によって恩恵を受けた人達からの事例報告や証言しかありません。近い将来もっと多くの研究が論文発表されることを望んでいます。

## II. 初回の施術の前に

1. この案内は、初めて来院した際に患者さんご本人、または保護者・介護者の方に渡されます。検査手順に入る前によくお読みいただき、担当施術者の指示に従ってください。

2. 過去のすべての医療記録や検査結果、画像のコピーをご持参ください。そして来院時には個人情報、過去の病歴、現在の病状および経過、同意書などの書類に漏れなくご記入ください。

3. もし過去に何らかのアレルゲンに対してアナフィラキシー反応を起こしたことがある場合は、来院前や初回問診時に、必ず担当施術者にお伝えください。そうすることでNAET® 施術者は施術中にアナフィラキシー反応を起こさないよう事前に注意を払うことができます。

アナフィラキシー病歴がある場合、検査および施術は必ず代理人を介して行います。そして施術ごとにすぐに手を洗うか両手をこすって、自分の手からアレルゲンのエネルギーを落としてもらう必要があります。卵・乳・大豆・小麦・魚・ナッツなど、日常的な食物に重度のアレルギーがあり、アナフィラキシー反応を起こしたことがある場合、これらアレルゲンに対する施術は、基本17項目の施術完了後、身体からの施術許可を確認してからのみ行うことができます。アナフィラキシー病歴のある場合、施術後20分間の休憩時にサンプルを保持する必要はありません。その他担当施術者の指示に必ず従ってください。

アナフィラキシー患者に対するNAET® 施術手順は、患者も施術者も厳密に守らなくてはなりません。公認施術者の中でも、その資格のある施術者のみが担当することができますので、不明点があればNAET JAPAN 事務局までお問い合わせください。

## III. 各施術の前に

4. 施術に来院される際は、たばこ、香水、人工および天然香料入りの日用品（洗剤・柔軟剤・シャンプー・ボディソープ・クリーム・化粧品など）、においの強い消臭剤、ヘアスプレー、整髪料、アフターシェービングローション、湿布、線香、ペットの毛、汗まみれの強い体臭など、体や衣類について「におい」をできる限り施術院に持ち込まないよう、「無香料でのご来院」をお願いしております。また、においが強く残るニンニクやハーブ類も来院前はお控えください。これらのにおいに過敏反応を示す患者さんも施術院に来られます。過敏症患者さんが施術院内に来院・滞在できなくなりますので、皆さんには無香料での来院をご協力いただいております。

アレルギー反応の原因と疑われるサンプルを持参される場合は、蓋つきの薄いガラス瓶に入れ、さらにビニール袋に入れてご持参ください。プラスチック容器やビニール袋では調べたり施術したりすることができませんので、プラスチック容器やビニール袋には入れてこないでください。

5. 施術院内とその周辺での喫煙はご遠慮ください。香料・ハーブ・香辛料・汗のにおいのしない清潔な衣服を着用してきてください。においが強い場合は、施術前にシャワーを浴びてきていただくか、施術院でにおいのない衣類に着替えていただくようお願いいたします。これら様々なにおいは、施術院内にいる他の敏感な患者さんに不快感を与え、さらにはアレルギー反応を誘発する恐れがあります。院内での飲食もご遠慮ください。食品のにおいで反応を起こす患者さんもいます。

6. 施術時は、ネックレスやブレスレットなどのアクセサリー類は外し、装飾品着用は最低限にしてください。大きな水晶やダイヤモンドのように磁場を強く発するものは施術の妨げになりますから、必ず外しておきます。シンプルで締め付けのない服、水晶・ビーズ・石・金属・ガラス・プラスチック製の装飾や刺繍のついていない服ならば、安全にNAET® 施術を受けられます。すべてのアクセサリー類・腕時計・スマホは身体から外し、自分の鞆やロッカーにしまい、なくさないようご自身で管理してください。

7. 来院時に刃物・ライターなど、危険物を持ち込まないでください。鋭利な金属製品や玩具、重たい玩具、大きな音のする玩具なども施術院に持ち込まないでください。
8. 施術院には、できるだけ各種電子機器（スマホ・タブレット・パソコン・ゲームなど）を持ち込まないでください。どうしても必要な場合は、予め施術者にご相談ください。電磁波過敏の患者さんがこれら電子機器に反応する恐れがありますので、持ち込まれる場合は、施術院内では電源オフもしくは機内モードにしてください。使用される場合は、施術院の外でお願いします。施術の際は、筋力検査が正確にできませんので、電源を切って、身体から遠ざけておいてください。
9. 来院前に必ず軽食を摂り、空腹での来院はお控えください。低血糖や脱水状態では NAET® 施術は受けられません。待ち時間が長い場合に備え、あらかじめ軽食を持参しておくとい良いでしょう。施術前にお腹がすいたら、施術院の外および車内にて軽食を摂り、その後石けんにて手を洗い、口をすすいでお待ちください。
10. 施術前には、必ず石けんで手を洗っておいてください。施術前に触っていた物質のエネルギーを手から取り除いておくことで、NAET® 施術における検査方法である神経筋敏感テスト (NST) の正確性を高めることができます。
11. 夜勤明けや長時間労働の後など、極度の疲労状態で NAET® 施術を受けしないでください。このような時は免疫系の働きが弱まっているので、施術がうまく入らず、なかなか施術がパスできないかもしれません。

#### IV. 施術に際して

12. 施術の間、施術者および患者さんのエネルギー磁場内に、同伴者が近づくことはできません。検査および施術中は施術室内には「患者さんと施術者だけ」になる必要がありますので、施術を受けている間は、子供もペットも施術室に連れて入ることはできません。大人でも子供でも、代理人として入るのであれば構いません。もし小さな子供が患者で親を代理人とするなら、一緒に施術室に入り、親を介して子供の検査・施術を行います。代理人としての接触が保たれるなら、複数名の代理人を介して施術を行うこともできます。施術者からも施術に関わる手順の説明があると思いますが、事前に「病気よ、さようなら」の第6章をお読みいただくとより理解しやすいでしょう。
13. NAET® は心身のバランスを整えるための施術ですから、施術者はどんな場合においても患者さんの意識と無意識から施術許可を得る必要があります。施術者及び NAET® 施術に対する同意書へのサインは患者さんの意識上の許可です。それだけでなく、患者さんの無意識からの許可も NAET® 施術を成功させるために重要となります。訓練された NAET® 術者はわずかな時間でこの無意識上の許可を確認することができます。まれに NAET® 施術に対して、無意識上の許可が得られない場合があります。このような場合、施術者はそれ以上 NAET® 施術を進めることはできません。その代わりに NAET® 施術者は、患者さんの健康状態に応じて他の適切な医療機関を紹介します。
14. NAET® 施術者は各項目に対する施術の前にも、同様に患者さんの無意識からの許可を得なくてはなりません。新しい項目に対する施術許可が脳から得られなければ、許可の出ている別の項目の施術をする、もしくは別の日に予約を取り直してもらう必要があります。これは最高の結果を出すために必要なことです。NAET® 施術者が施術前に患者さんの脳から許可を取っていれば、アナフィラキシーのような重度の過敏反応を誘発するアレルゲンの施術もうまくいくことでしょう。別の項目に対する NAET® 施術を追加する、またはカイロプラクティック・鍼灸・マッサージ・ヨガなど他の免疫系サポートのための施術・療法を受けるには、脳や身体を整えるために、NAET® 施術後、数時間から数日間の休息を入れるといいでしょう。どの程度必要かは、施術者が患者さんの体の声（無意識）を確認します。

- 15.NST を行っている間、患者さんは異なるサンプルに触れるたびに、手を 30 秒程度しっかりこすってください。前に調べたサンプルのエネルギーが手に残っていると、新しいサンプルに対する検査が正確でなくなる恐れがあります。1 回の来院でサンプルを手にして NST で調べるのは「3 項目のみ」としています。これは短時間にいくつものアレルゲンに触れたことによる身体反応が蓄積し、即時型および遅延型の予期せぬ過敏反応を招く恐れがあるためです。サンプルを持たない状態で調べることもできますが、患者さんによってはアレルゲンの名前を言葉として聞くだけで反応する方もいるので気を付けなければいけません。
- 16.NST 検査や NAET® 施術を受けている間、アレルゲンを保持していない方の手指は、施術ベッドや衣服などに触れないように軽くこぶしを握ってください。
- 17.NST や NAET® 施術を受けている間は、ガムや飴などを口にしないでください。
- 18.NST 及び NAET® 施術中に、施術者・患者・代理人以外の第三者による、至近距離にて施術を観察、撮影、メモを取るなどの行為は許可できません。離れるべき距離は患者さんによって、各アレルゲンによって異なりますので、施術者の指示に従ってください。
19. もし患者さん自身で検査ができない場合（子供、高齢者、筋力が強すぎる・弱すぎる、障害者、妊娠後期など）、代理人を介して検査を行います。そうすることで施術者はあなたの過敏性に関する正確な情報を得ることができます。検査中は代理人と患者が、皮膚接触をしっかりと保った状態でいてください。このときサンプルを持つのは代理人であり、代理人は異なるアレルゲンを検査するたびに手をこすする必要があります。
20. 施術も代理人の身体を介して受けることができ、自分が直接受けた場合、もしくはそれ以上の効果を得ることができます。乳幼児、小児、老人、ペット、各種病理による免疫低下、妊娠後期、病的な肥満、呼吸器疾患、乾癬や重症アトピーのような全身衰弱性皮膚疾患、背部手術後、強い側彎、重度な過敏反応やアナフィラキシーの病歴をもつ患者さんであれば、代理人を介した NAET® 施術を受けてください。

## V. 基本 17 項目の施術

21.NAET® 基本 17 項目の施術は、誰にとっても必要不可欠な必須栄養素を含んでいます。BBF、卵ミックス、カルシウムミックス、ビタミン C ミックス、ビタミン B 複合ミックス、砂糖ミックス、鉄ミックス、ビタミン A ミックス、ミネラルミックス、塩ミックス、穀物ミックス、酵母ミックス、酸ミックス、アルカリミックス、ホルモンミックス、臓器ミックス、ビタミン K ミックス。もしこれら基本的な栄養素にアレルギーがあるなら、あなたの身体は毎日の食事から十分な栄養を受け取れていないでしょう。過敏性・不耐性・アレルギーによってもたらされる栄養不足は免疫系機能を低下させ、様々な健康問題をまねく恐れがあります。

1 回の施術で基本栄養素 1 項目を、患者さんの免疫系の状態次第で、週に 1～2 回施術を進めていきます。細胞記憶不均衡も施術項目ごとに調べ、反応があれば施術をします。施術後 25 時間は、施術した項目との接触を避けます。25 時間以上の回避が必要な場合は、施術者が指示します。基本 17 項目の施術が完了したら、施術者は完全に除去がなされているか再度確認し、ミックス項目の構成要素の施術や組み合わせでの施術が必要な項目がないかも調べていきます。

ビタミン B のアレルギーが完全に除去されたら（構成要素や組み合わせの施術を含む）、すぐにビタミン B 複合のサプリメントを適量補給します。そうすることで副腎系がうまく機能し神経系はリラックスし始め、免疫系は改善し始めるでしょう。ビタミン B 複合は、神経系の栄養となるのです。

22. 免疫系が正常レベルを維持できるようになると、全体的に体調が良くなるだけでなく、アレルギーや感性が低下し、より少ない NAET® 施術で最大の効果をあげることができるようになります。

## VI. 基本項目の順番通りに施術を進めない理由

23. 白米やパスタにアレルギーがある場合、基本 17 項目の前 (BBF の後) に施術することができます。大量の水で調理した白米や精製パスタは、施術後 25 時間の回避時間内において空腹を満たすために好きなだけ食べてよい食品です。もし白米やパスタ (でんぷん質) に過敏性があるなら、基本 17 項目の施術期間にそれらを多く食べることで逆に不快を感じるかもしれません。よって他の施術を進める前に、白米に対するアレルギー性をクリアしておくべきなのです。

24. 処方薬など施術後の回避が難しい項目は、基本 17 項目のうち、最低限最初の 6 項目 (砂糖ミックス) までの施術が完了し、かつ無意識からの施術許可が得られてから施術を行います。そして患者さんは、自宅でゲートマッサージによるエネルギー調整を 2 時間おきに行います。回避できない薬の場合、まず初めに施術者のもとで薬に対する NAET® 施術を行い、施術後 25 時間は 2 時間おきにゲートマッサージを行います。薬の服用前後にも 6 ゲートを用いたゲートマッサージを行います。睡眠中に行う必要はありません。途中目が覚めたらいつでも追加して構いません。この方法は、一般的な食物や環境物質の施術後 25 時間の回避を避けるためには使えません。施術が 1 回でパスしなかったら再び同じ項目を施術し、回避する必要があります。

25. 急性症状の場合、患者さんの脳 (無意識) からの許可が出れば、施術者は通常の施術項目をとばしてその急性問題に対する施術を行うことができます。例えば、最近口にした特定の食物に反応した、生存に必要不可欠な薬 (鎮静剤・ステロイド剤・抗ヒスタミン剤・抗うつ剤・循環器系の薬など) に反応した、予期せずに火煙や有毒ガスにさらされた、飲料水・水道水に反応した、愛する人を亡くしたなど。

突然感情的なショックを受けた時などは、身体からの許可が得られれば、基本 17 項目の施術完了前でも急性対応として施術することができます。もし花粉や雑草、タバコの煙、化学療法のような定期的な薬、抗生剤、対人アレルギーなどに強い反応を示す人がいれば、基本 6 項目 (砂糖ミックスまで) を終了した後に施術することができます。急性アレルゲンの施術が完全に終了したら、基本項目の続きに戻ります。

## VII. 施術後

26. 施術後、帰宅前には水道水で手を洗ってください。施術後に手を洗えない場合は、手指全体を 30 秒間よくこすり合わせてください。

27. NAET® 施術後 6 時間は、激しい運動をしないでください。軽いウォーキング程度なら構いません。

28. NAET® 施術後は、極端に暑い・寒い環境を避けてください。

29. NAET® 施術後 6 時間は、入浴・シャワー・水泳は控えてください。

30. NAET® 施術における 20 分の待機中、本を読んだり、他のものを手指で触ったりしないでください。

31. NAET® 施術における 20 分の待機中、手足を組まないでください。待機中はリラックスし、心穏やかに横になり休憩できるとよいでしょう。その間、身体をめぐる 12 経絡に温かいエネルギーが循環しているのをイメージするのもよいでしょう。瞑想しても構いません。感情に対する NAET® 施術を行った後は、20 分の

待機中に施術した問題点に対し前向きに考えることをお勧めします。

32. NAET® 施術後、施術者から 25 時間かそれ以上、施術したアレルゲンを避けるよう指示されます。施術後の回避時間は、施術した物質を「食べない・触らない・吸い込まない・近づかない」ようにしてください。あるアレルゲンに対して関連項目を含め十分な施術が完了し、その特定のアレルゲンに対する IgE がクラス 1 以下なら、施術者の指示のもと 3～4 日間はそれを含む食品を少量ずつ口にしてみてください。もし施術が完全でなければ、何らかの症状が誘発される場合がありますが、施術者はその症状に隠れた原因を調べ、施術を追加します。施術を終えたアレルゲンを摂取させるその他の利点は、脳や神経系にその食品が無害であることを再確認することです。例え将来的にそのアレルゲンを摂らなかったとしても、神経系がその無害さを忘れることはありません。この流れは、アナフィラキシーのような重度の過敏反応歴のある (IgE クラス 2 以上) 患者さんには適用されません。
33. NAET® 基本 17 項目の最初の 4 項目 (ビタミン C ミックス) までの施術が終了したら、その脱感作されたグループの飲食物だけを摂取してみることをお勧めします。そして新たな項目の施術が完了する度に、それを食事リストに加えます。こうすることで残りの施術を進めていく間の全般的な不快感が軽減するとともに、NAET® の施術効率が上がり、施術効果をより早く実感することができるでしょう。施術計画は患者さん個人の免疫力に応じて立てられます。重度のアレルギーや免疫力の低下がみられる場合は、週 1 回しか施術は受けられないでしょう。しかし比較的免疫力の良い患者さんは、週 3 回以上の NAET® 施術でも受けられます。患者さんに適切な施術計画は施術者が個別に確認します。
34. もし敏感性が非常に強い場合や、施術後 25 時間の回避時間内に様々な不快症状 (涙が止まらない・憂うつ・おかしい感情・異常な身体の痛みなど) を自覚する場合、起きている間は 2 時間毎にゲートマッサージを行う必要があります。刺激ポイントは巻末をご参照ください。寝ている間に行う必要はありませんが、途中目が覚めた時には追加しておきます。そして回避時間終了後に施術者のもとで施術結果を確認し、完全にパスするまで施術を追加していきます。
35. 施術後 25 時間の回避が難しい場合、施術者が QRT (質問応答テスト) を用いてその患者さんに適切な回避時間を指示します。事前に施術後 25 時間の回避中に食べられるものを探しておくとい良いでしょう。乳幼児や子供で回避が難しい場合は、早めの夕食後に施術予約を入れておくとい良いでしょう。乳幼児や子供でも、より良い結果のために 25 時間の回避は極力守れるとい良いでしょう。もし質問があれば施術者へお尋ねください。
36. もし特別な理由で一定時間のアレルゲン回避が難しい場合 (糖尿病患者における穀物や砂糖の施術、心臓病患者における処方薬の施術など)、2 時間ごとのゲートマッサージに加え、そのアレルゲンに触れる前後にもゲートマッサージを適宜行い、エネルギーバランスを整えます。自閉症や ADD、精神遅滞のような発達障害のある患者さんの場合、介助者が施術後 25 時間は、2 時間おきにそして施術したアレルゲンに触れる前後に (食べるのは避ける)、患者さんのゲートマッサージを行えるよう施術者から教わってください。「Living Pain Free」(痛みからの解放：未邦訳) の本には、施術を終えていないアレルゲンから生じる様々なアレルギー反応や不快症状を軽減・コントロールするために使える自己押圧ポイントが載っています。
37. 施術終了後 30 分間 (施術開始から 1 時間) は、施術したアレルゲンを含む食事を摂っても構いません。ただし、重症アレルギーやアナフィラキシーなど過敏性の強い患者さんは例外です。血液中の IgE の異常レベルが低い患者さんは、施術のパスを確認後数週間から数ヶ月は体調が良く感じるでしょう。しかし、その後症状が再発し始め、同じ項目での NAET® 施術が再度必要になることがあります。

血液検査で IgE を調べると最初の値から全く変わっていないこともあります。

最初に IgE 検査をしておらず、ある施術項目で繰り返し施術が必要になるなら、それは IgE レベルが正常でないことを示します。

血中の IgE レベルが正常でない患者さんは、標準的な NAET<sup>®</sup> 施術手順では IgE を十分に低下させることはできないでしょう。アドバンスレベルのアプローチが必要になります。

IgE 検査でクラス 2 以上、もしくはアナフィラキシー病歴のある患者さんは、NAET<sup>®</sup> 施術がパスしたとしても、血液検査結果が正常になるまでは、「決して」そのアレルゲンを食べたり触れたりしないでください。

25 時間制限は施術終了の 30 分後から始まります。NAET<sup>®</sup> 施術や鍼療法の前後は重たい食事を摂らないでください。NAET<sup>®</sup> 施術前はコップ 1 杯の水分を摂ってください。十分に水分の満ちた身体では、エネルギーの循環が活発になります。NAET<sup>®</sup> 施術後の回避時間内は、毎日 4～6 杯のアレルギーのない水分を十分摂り、NAET<sup>®</sup> 施術により生じた毒素の排泄を促してください

38. 各施術後に施術内容や食事内容、施術後 25 時間内に感じたどんな反応もガイドブックに記録しておくといでしょう。引越し・転医など何らかの理由で他の施術者に診てもらうことがあれば、この記録を持参すれば、スムーズに施術を継続して受けることができるでしょう。施術後 25 時間に起きた良い反応・不快症状すべてを記入し、次の施術の際に施術者に見せてください。もし頻回に起きる健康問題で原因がわからない場合は、別のノートに 1 ヶ月の毎日の活動内容を記入してください。たとえ少量であっても口にした飲食物は全て記録します、さらに問題が始まる前に、家や職場で新たに購入したものがあればそれも記録します。この記録を施術の際に持っていき、NAET<sup>®</sup> 施術者にリストの中から原因となるものを調べてもらってください。

39. ミネラルミックス、金属、水、革、ホルムアルデヒド、繊維、草木、カビ、水銀、新聞、化学物質、花、花粉、芝生、煙などの環境物質を施術している間は、特別な注意が必要になります。これら項目から離れるためには、必要に応じてマスク・手袋・靴下・靴・上着・スカーフ・耳栓などをつける必要があります。またこれらを完全に回避できない場合は、25 時間の回避時間中、起きている間は 2 時間ごとにゲートマッサージを行ってください。

40. 施術後 25 時間内もしくはそれ以降に、(施術した項目でもそれ以外でも)何らかのアレルゲンによって生命を脅かすような危険な症状があれば、直ちに救急要請し、主治医や救急病院で診察する必要があります。

41. 基本 17 項目の施術終了後、もしくは月に 1 回程度、施術者はそれまでに施術したアレルゲンを再度調べます。この時点でそのアレルゲンに対し 50%以上のパスができていなければ、再度追加施術が必要となります。この 100%パスを目指す追加施術において、施術後の回避は一切必要ありません。

42. 基本 17 項目の施術終了後、毎日の飲食物のサンプルをガラス瓶に少量ずつ集め、それを手に持ち就寝前にゲートマッサージをしてください。実施方法の詳細は、担当施術者に確認してください。

43. 起床時と就寝前にコップ 1 杯のアレルギーのない水を摂ってください。

44. 施術後 25 時間以降、できれば 1 週間以内に前回の施術項目がパスしているか、施術者に調べてもらうのを忘れないでください。パスしていなければ、追加施術が必要となります。

## VIII . NAET<sup>®</sup> 施術に関する補足説明

45.NAET<sup>®</sup> は全体論的な施術法です。身体・内臓・精神的な働きを含めた個人の全てを、調和のとれた状態へと導きます。健康と言えるには、これら全てのレベルでバランスが取れている必要があります。もし 1 カ所



でも上手くいかなければ、それは他にも影響を及ぼします。NAET® における感情バランス均衡法では、環境病・化学物質への反応・慢性的な疼痛障害・その他慢性疾患・自閉症や注意欠陥多動性障害 (ADHD) などに悩まされている人に良い結果をもたらしてきています。この感情バランス均衡法は他のアレルゲン物質の施術と連動して行う場合、一切の追加料金は必要ありません。基本 6 項目 (砂糖ミックス) までの施術終了後、希望があれば NAET® の感情バランス均衡法を行うことができます。

46. NAET® の感情バランス均衡法は、従来の心理学的・精神医学的治療の代替ではありません。もし NAET® 施術以前にこれらの療法を受けている場合は、必要に応じてそのセラピーや服薬を続けてください。もし何らかの理由で NAET® 施術者による感情バランス均衡法を希望されない場合 (宗教上の理由など)、初診時に担当施術者にその旨をお伝えください、そうすれば施術者は感情バランス均衡法を施術計画から除外することができます。

47. NAET® 施術を最後まで終了しなかった場合、あるいは事情によりある特定の項目に対する施術が終了しなかった場合でも、不安になる必要はありません。NAET® は刺激の少ない、非侵襲性の優しい施術法です。過去 35 年以上の臨床において、長期に渡る悪影響を引き起こしていません。一時的な不快症状は不完全な施術によるものかもしれませんし、2～3 週間程度続くかもしれません。そのような場合には、湯冷ましもしくはアレルギーのない水を毎日 4～6 杯飲み、体内のエネルギー循環を良好に維持しておきましょう。

48. 徐々に特定の症状が消えたとしても、施術が不完全なアレルゲンを放置していたら、施術前の状況に戻ってしまうこともあります。例えば、NAET® 施術前に悩まされていた不眠症状が施術後解決していたものの、しばらくして再発するとか、軽減していた痛みが再燃してくるなどです。特に施術が完全にパスしていないアレルゲンは、患者に何の利益ももたらさないことが分かっています。なぜなら人間の身体 (脳) は忘れやすく、アレルゲンに対する施術が不完全であると、その施術情報は数日から数週間程で身体 (脳) から忘れ去られてしまいます。そこから身体は現在の状態に焦点を合わせるようになるため、施術途中のアレルゲンに対しては、身体 (脳) はまだこれはアレルゲンであると判断します。

49. しかし特定のアレルゲンに対する NAET® 施術を中止せざるを得ない場合、その特定の項目に対するエネルギーバランスを継続的に自己調整することも可能です。身体 (脳) がその項目をアレルゲンと認識しなくなるまで、毎日 2～4 時間毎にその実物を保持しながらゲートマッサーを 1 か所 1 分丁寧にを行います。この方法は、NAET® 施術者が最初に施術をしたものの、事情により施術が完了していない場合にのみ効果があります。複合的でない個別の項目であれば (例えば、発酵パン生地・肉・ホットドッグ・下剤や鎮痛剤などの薬・シャツやスカーフ等の特定の生地など)、患者さんご自身や介助者によって、自宅にて施術を終わらせることが可能です。

注意：これは単一アレルゲンにのみ行うこと。グループとしてまとめて、一群のアレルゲンに対しては決して行わないこと。自宅での自己療法に関しては、必ず担当施術者の指示のもとで行うこと。

50. あるアレルゲンの施術が終了し、再検査で NST が強くても患者さんがまだ同じ症状を訴えているなら、新しい項目の施術に進まずに、数日から 2 週間施術をせずに様子を見るのもよいでしょう。これは特定のアレルゲンの脱感作が成功したかどうかを判断する方法であり、かつ現在の症状が他のアレルゲンにも起因しているのかどうかを判断する方法でもあります。特定のアレルゲンに対する施術が不完全なら、数日経っても NST はその項目単体もしくは組み合わせで弱い反応を示します。そこで、アレルゲン単体あるいはその組み合わせの施術を繰り返します。この施術結果の様子を見ている間に、鍼灸・マッサージ・カイロプラクティック・アロマセラピーなどその他療法によって免疫系を強化させておくのもよいでしょう。あるいは上記に書いたように、自宅でそのアレルゲンに対してゲートマッサーを続けておくこともよいでしょう。



51. 以前施術したアレルゲンに対し NST は全く弱くなくても（その施術は完了している）、同じ症状が続くことも見られます。このような場合、施術したアレルゲンに対する反応は解消されているものの、同様の症状を起こす別のアレルゲンが犯人と特定されます。通常過敏反応の病歴のある人は、同時にいくつかのアレルゲンに反応しています。ひとつのアレルゲンが脱感作され、エネルギーの反応が除去された場合、他のアレルゲンの影響が以前よりも目立つようになってきます。よってその症状に関与する全てのアレルゲンが NAET® 施術により脱感作されるまで、アレルゲンによる症状は継続するのです。
52. 身体の中でも特に弱い部分に対しては、全てのアレルゲンが影響を及ぼし、健康問題や不快症状を引き起こします。この傾向は、特に喘息・副鼻腔の問題・アトピー・各種過敏症・自閉症・注意欠陥多動症・慢性疼痛障害をお持ちの方に見られます。他にがん・血管性疾患・認知症・変形性関節炎・線維筋痛症・狼瘡・頭痛・片頭痛・背部痛・筋膜痛・末梢神経障害・不妊・月経前症候群・不眠・各種精神疾患などの方も同様の傾向にあります。この機序があるため、NAET® の基本 17 項目もしくはそれ以上の施術が完了するまで、このような症状には大きな変化が見られないという事があります。
53. ある食物に過敏性があると、身体は多くの内因性毒素を産生します。あるアレルゲンの施術後、主要 12 経絡から体外へと自然に毒素を排泄し、身体がアレルゲンに対する解毒を完了させるには 24 時間（各経絡 2 時間ずつ）かかります。施術によっては 24 時間の回避や制限がない場合もあります。施術後すぐにアレルゲンの反応が解消する人もいれば、数時間だけの人、25 時間必要な人、40 時間必要な人もいるかもしれません。1 時間程度でアレルゲンの反応が解消される場合においても、身体が自然に解毒を行うために 25 時間（24 時間に念のため 1 時間を追加）しっかりと施術項目を回避する方が安全かつ確実です。数回の NAET® 施術後、ハーブやミネラルなどを用いた解毒プログラムを受けて、自分の身体システムを浄化していくこともできます。しかし忠実に 25 時間の回避に従えば、特別な解毒プログラムの必要はなくなります。なぜなら身体はしっかりと条件がそろえば、毒素を自然に自力排出できるようになるからです。
54. 専門医から処方されている全ての薬剤やその他の治療法は、それを処方した医師の指示で中止されない限り継続する必要があります。薬剤だけでなく、今受けているその他医療やカイロプラクティック、マッサージなどの施術も中断せずに継続してください。
55. NAET® 施術は他のどんな治療・施術に対しても、干渉することはありません。実際、服薬や他の治療によって毒素が蓄積せずに症状がコントロールされていると、NAET® 施術はより効果を発揮することが分かっています。
56. 女性の患者さんは、ホルモンバランスの変化を生じやすいので、月経が始まって 3 日間は施術を控えた方が良いでしょう。
57. 妊娠中の NAET® 施術は、母子双方に何ら悪影響を及ぼさないことが分かっています。実際、双方に素晴らしい利益をもたらしています。母親が妊娠中に NAET® 施術を十分に受けていると（少なくとも母親の基本 17 項目と判明しているアレルゲン全ての施術）、出生前に NAET® 施術に触れなかった兄や姉に比べ、物質への過敏性が非常に少ない子が生まれてきます。
58. NAET® 施術が進んでいくと、ビタミン・ミネラル・その他必要なサプリメントを摂取することをアドバイスされます。栄養素の施術完了後にその栄養素を適切に補給すると、栄養不足による慢性疲労・全身の痛み・関節炎・不眠・躁うつ・その他疼痛疾患などから生じる痛みや不快感は軽減されます。
59. NAET® 基本 17 項目の施術が全てのレベル（身体・内臓・感情）において完全にクリアしても健康状態に何の改善もみられない場合、担当施術者はあなたの状態を再評価する必要があります。総 IgE 値、および個別の食物や環境物質に対する特異的 IgE や IgG といった血液検査を再度調べるとよいでしょう。

総 IgE、特異的 IgE、IgG の血清レベルが正常でないものが見つければ、永続的な効果を得るために、異なる NAET® でのアプローチが必要となるでしょう。血液検査を再度行い身体の状態を評価し、必要に応じてさらなる評価のために他の健康管理の施設を紹介してもらってください。

追記；

最後までお読みいただき、ありがとうございました。かなり細かい内容で大変だったと思います。はじめからすべてを理解したうえで施術を進める、ということはどうなにとっても大変難しいことです。まずはざっと目を通していただき、施術が進む中で繰り返しお読みいただき、自分自身の実体験と結びつけてみるとより理解、納得していただけたらと思います。

これから始まる新しい施術に関して、どんなことでも質問・疑問・不安などありましたら、遠慮なく担当施術者、および NAETJAPAN 事務局までご連絡ください。自分の質問・疑問・不安などをそのままにせず、頭と心で納得してから施術を進めていかれることをお勧めします。担当施術者と施術に対する信頼を置きながら施術に取り組んでいけたほうが、確実に効果や恩恵をうけとることができますので。

NAET JAPAN 事務局

**NAET® 施術を開始する前に、上記注意事項を読んで確認して署名を記入してください。**

患者の署名

---

保護者の署名（患者が 18 歳以下の場合）

---

日付

---